

天王山

「天下分け目の・・・」といえば「天王山」。これは、天正10年(1582)6月13日に中国大返しを強行した羽柴秀吉と明智光秀が、摂津国と山城国の境で激突した山崎合戦のことですが、それが語源となり、「今が大勝負」というときに用いられています。

さて、1学期も終盤となりました。で、今日から生徒にとっての「天王山」である期末テストが始まりました。この結果は、1学期の頑張りの成果であり、通知表にも大きく反映します。まさしく、「天下分け目」であることは間違いありません。今日の出来はどうだったでしょうか。明日も3教科のテストがあります。「失敗したな」と思った人は挽回できるよう、「よし!」と手ごたえを感じた人は、今日以上にガッツポーズができるよう、今夜は最後の追い込みをしっかりとやってほしいと思います。

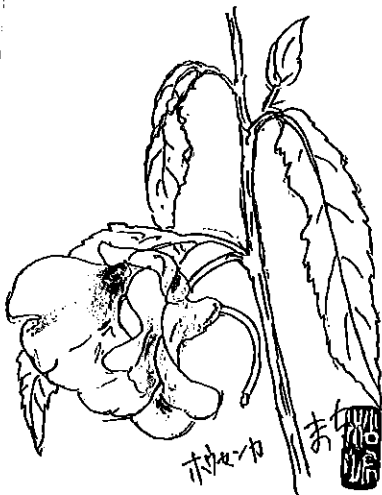
もちろん、期末テストの結果だけで通知表の評価や評定を出すわけではありません。日ごろの授業態度や発表の様子、課題の提出状況等々、これらを総合的に見て評定は出しています。「テストが良かったから大丈夫」と安心して気を抜くのも、「テストを失敗したからもうダメだ」と諦めてしまうのも問題です。今までの取り組みも大切ですが、まだ残り20日余あります。最後の最後まで気を抜かず、諦めず、しっかり頑張してほしいと思います。終業式には、自分なりに「勝ち名乗り」ができることを願っています。



<通知表についてのお知らせ>

すでにお知らせしていますが、夏休みに入ってから、1、2年生は家庭訪問を、3年生は三者面談を実施します。その折に1学期の頑張りをお知らせし、今後の課題等も確認させていただきます。このため、昨年同様、1学期の通知表の通信欄への記入は省略させていただきます。ご了承ください。

花いっぱい



今年も南島原市役所環境課から「花いっぱい運動」の花がたくさん届きました。サルビアにマリーゴールド、ポーチュラカが合わせて200株程度。これに加えて、落ち種で育った百日草やトレニア、ハウセンカなどなど・まさしく百花繚乱で、これらを用務員の中村さんや支援員の太田さんが世話してくださっています。

花を育てるのは、結構手間がかかります。植えっぱなしではうまく育ちません。当然、水をまき肥料を与えなければなりません。ただ、多すぎても、少なすぎてもいけません。与えるタイミングも大切です。さらに雑草や病害虫の駆除も必要です。しっかり守ってやらなければなりません。それこそ、子育てに通じるものがあります。

今「色とりどりの花」が順調に育っています。来週の「長崎っ子の心を見つめる教育週間」にはぜひご来校いただき、色とりどりに頑張る生徒の様子とともに花壇にも目を向けていただければ幸いです。